



# 高校生向け半導体セミナー(第2回)

## 第12回STEAM人材育成研究会【第2報】

AIの急速な発展で、「半導体を創る」、「半導体を使う」の両面で天井知らずの進歩が予想される中、若い世代のチャレンジがその成否を決めると言ってもいいでしょう。このセミナーが、これからのキャリアパスについて考えるきっかけになれば。

高校生に加えて、教員、研究者、企業の皆様で、高校生の学びに関心を寄せる方々のご参加もお願いします。

15:00-15:30

- 開会挨拶・司会 東京大学生産技術研究所 所長 年吉洋

### <第一部> 半導体体験セミナー振り返り

- 高校生の体験セミナー(半導体設計)の様態を動画と解説で振り返る  
天野英晴/東京大学大学院上席研究員(30分)

15:30-16:30

### <第二部> AI半導体の最先端技術講演

- 「AIを支える新しいコンピュータ」  
入江英嗣/東京大学大学院教授(20分)
- 「光を捉えてAIの目となる半導体」  
植野洋介/ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)副部門長(20分)
- 「その場で学習する半導体」  
松谷宏紀/慶應義塾大学教授(20分)

<休憩>(10分)

16:40-17:30

### <第三部> キャリアパスの紹介と座談会

- 「半導体研究者・技術者の育成とキャリアパス」  
池田誠/東京大学大学院教授(20分)
- パネルディスカッション  
参加高校生vs東京大学研究者座談会(30分)
- クロージング PLIJ代表



### お申込み方法

QRコード、または以下リンクから、現地参加か、Zoomウェビナー視聴か選択してお申し込みください。参加費無料です。

<https://bit.ly/3W7aNf8>



※録画(スクリーンショットを含む)・録音や二次利用は固くお断りいたします。

問合せ先:一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム  
事務局:info@plij.or.jp

会場:東京大学先端科学技術研究センターENEOSホール  
Zoomウェビナー(ハイブリッド形式)

主催

一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)

協力

東京大学工学系研究科システムデザイン研究センター(d.lab)

# 登壇者プロフィール

## 天野英晴

東京大学大学院工学系研究科  
上席研究員

並列コンピュータに関する研究で長年にわたり貢献。特に、動的リコンフィギャラブルシステムの基礎技術を世界に先駆けて発明し、それらは商用組み込みプロセッサにも活用。また、並列計算機の相互結合網では、数々の発明実績。教育面でも教材やテキスト整備に力を入れ、多数の教科書を執筆している。慶應義塾大学名誉教授。

## 池田誠

東京大学大学院工学系研究科教授

大規模集積システムの設計・最適化が一貫した研究テーマ。近年はハードウェアとセキュリティに注力。東京大学大規模集積システム設計教育研究センター(VDEC)を引き継いで2019年に発足した「システムデザイン研究センター(d-lab)」の2代目センター長。最先端の設計・デバイスの研究推進と同時に、日本全体で唯一の設計プラットフォーム、デバイス(クリーンルーム)プラットフォームの整備を推進。

## 入江英嗣

東京大学大学院  
情報理工学系研究科教授

「これからのコンピュータを作る、使う」を研究のモットーに、コンピュータアーキテクチャの領域でイノベーションに貢献。高効率汎用プロセッサアーキテクチャ、形状自在計算機システム、自動調整する超高効率近時計算基盤など。社会、産業課題を積極的に取上げ、産学連携による共同研究を展開。

## 植野洋介

ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)  
第1研究部門副部門長

所属するソニーの「Corporate Distinguished Engineer」の一人。社の技術戦略の策定及び推進と人材の成長支援を「アナログ回路設計技術」中心に活動。近年は積層型CMOSイメージセンサーや距離センサー向けの研究開発と商品化に貢献。新たな機能実現と共に、継続的な高精度化/高速化/低消費電力化/小型化に取り組む。

## 年吉洋

東京大学生産技術研究所 所長

東京大学生産技術研究所の講師、助教、教授を歴任し、2024年4月より生産技術研究所長就任。その間、カリフォルニア大学ロサンゼルス校の客員助教授。研究分野はMEMS(Micro Electro Mechanical System)技術の微小光学応用とRF-MEMS応用、集積化MEMS設計・製造技術。2024年6月からPLIJ理事。STEAM人材育成研究会リーダー。

## 松谷宏紀

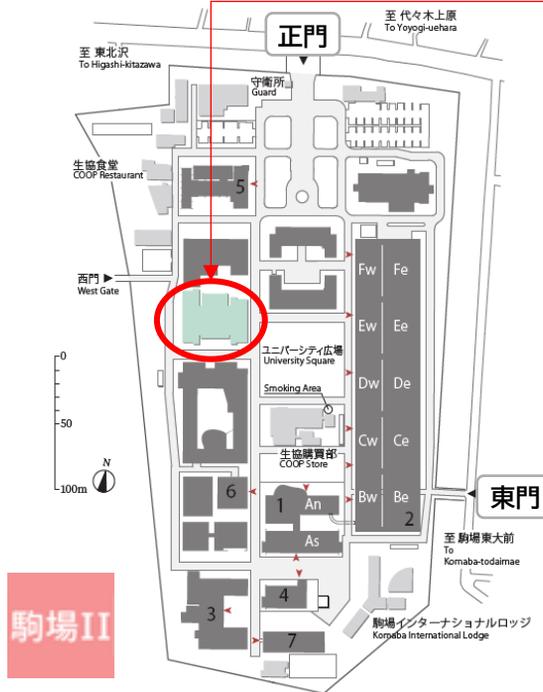
慶應義塾大学理工学部教授

計算機アーキテクチャーが専門。身の回りのエッジデバイスから大規模クラウド計算基盤に至る様々なスケールの計算基盤を研究。最近は、計算資源の限られたエッジデバイス向けのオンデバイスAI(人工知能)、FPGA(Field-Programmable Gate Array)やGPU(Graphics Processing Unit)を用いたネットワーク内計算、分散機械学習やデータ処理の高性能化を研究。

# 会場案内

駒場東大前駅に隣接する駒場 I キャンパスとは異なりますのでご注意ください。

## 駒場II地区キャンパス



## 会場

東京大学  
先端科学技術研究センター3号館南棟  
ENEOSホール  
東京都目黒区駒場4丁目6番1号

- 小田急線東北沢駅(各駅停車)より、正門まで徒歩8分
- 京王井の頭線駒場東大前(各駅停車)より、東門まで徒歩10分

